

§ 1 舞台スタッフとは

1.1 舞台って？

演劇、ライブ、お楽しみ会など、さまざまな演目が繰り上げられる場所。

出演する人にとっては、日頃の練習の成果や意気込みを見せる大切な場所。

1.2 舞台スタッフって何をするの？

アドバンにおける『舞台スタッフ』は・・・

舞台作り・・・

場転・・・・・・・・

1.3 舞台チーフって何をするの？

舞台スタッフをまとめ、それぞれのスタッフに『何をすべきか』指示を出します。

主な仕事・・・

※ 舞台チーフは、その現場の『舞台』における最高責任者。

1.4 チーフとスタッフの違いって？

チーフ・・・・・・・・

スタッフ・・・

§ 2 舞台で使う機材

2.1 マイクロフォン(microphone) <舞台図上の記号 Φ >

_____を受け取り、_____として出力するもの。微少な(micro)音(phone)を拾う、という意味を持つことからこの名前がついている。『mic』『mics』とも表記する。

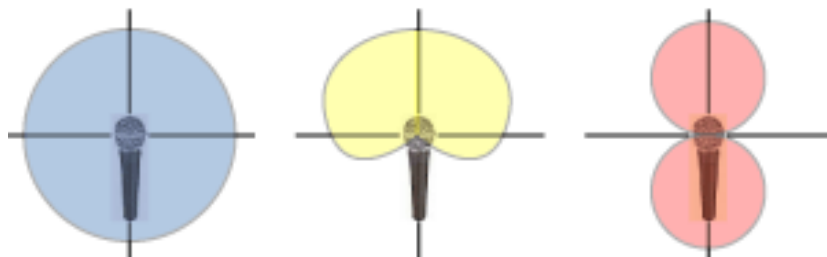


○ダイナミックマイクとコンデンサマイク

ダイナミックマイク・・・

コンデンサマイク・・・

○指向性



無指向性・・・

単一指向性・・・

双指向性・・・

○マイク当て

楽器や演奏者に対してマイクを設置し、音を拾える状態にすることを『マイク当て』という。別称『マイキング』

○オンマイクとオフマイク

オンマイク・・・

オフマイク・・・

○近接効果

マイクを対象に近づけすぎると、対象から離れているときに比べ_____という効果。ボーカル用のマイクなどは、あらかじめ近接効果を考慮して作られている。

○マイクスタンドとマイクホルダー

マイクスタンド・・・マイクを立てて使うためにマイクを支えるもの。



マイクホルダー・・・スタンドにマイクを立てる際に、マイクを押さえるためのもの。

アドバンで所有するマイク（一部）

メーカー	名称	主な用途
SHURE	SM58	ボーカル、MC など
SHURE	SM57	楽器全般
SHURE	Beta 58A	ボーカルなど
SHURE	Beta 57A	楽器全般
EV	N/D408B	ドラムのタムなど
SENNHEISER	MD421	ドラムのキック、タムなど
CLASSIC PRO	CM5S	MC など

アドバンで所有するマイクスタンド

メーカー	名称	主な用途
K&M	259	ギター、ドラムのキックなど
K&M	210	ドラムやボーカルなど
K&M	21010	ドラムのトップ

2.2 スピーカ(speaker) <舞台図上の記号   >

_____を受け、_____として出力する。コーンと呼ばれる部分が振動して音を伝える。主にアドバンで使うのは、人間の可聴範囲ほぼすべての周波数をひとつのスピーカユニットで再生できる_____。



- ウーファーとスクーカー、ツイーター
 - ウーファー・・・
 - スクーカー・・・
 - ツイーター・・・
 - それぞれのスピーカについている数により、『2 ウェイ』『3 ウェイ』などの呼び方がある。
- メインスピーカとモニタスピーカ
 - メインスピーカ・・・
 - モニタスピーカ・・・

アドバンで所有するスピーカ（一部）

メーカー	名称	主な用途
YAMAHA	S215V	メイン
YAMAHA	Sx300	メイン、サイド
YAMAHA	SM15IV	モニタ
YAMAHA	WF115	メイン
EV	Eliminator Monitor	モニタ

2.3 アンプリファ(amplifier)

入力された_____を____し出力する。音響においては_____目的で使われる。単に『アンプ』ということが多く、アドバンで使うアンプは『パワーアンプ』と呼ばれる種類のアンプである。

○アッテネータ

_____のこと。パワーアンプについている目盛りのことで、_____を表している。右に回すほど_____なり、したがって出力する信号は_____なる。

○クリップ

アンプについているインジケータのひとつ。そのアンプが扱う事の出来るパワーを超えた信号が入力された場合に点灯。クリップが点灯しているときはアンプに過大入力されており危険なので、すぐに対処する。


○電力

PAなどで使うパワーアンプは、消費する電力が大きい。ブレーカー落ちや過電流による発熱・火災を防ぐため、使用する前にはその場所に適切な消費電力になるかどうか電力計算を行う必要がある。なお、パワーアンプの出力の強さは消費電力に比例する。

アドバンで所有するアンプ（一部）

メーカー	名称	出力：消費電力
YAMAHA	PC3500	350W：450W
YAMAHA	P5000s	500W：500W
YAMAHA	P2500s	250W：320W
YAMAHA	PC2002M	240W：350W

2.4 その他

【D.I.】 <舞台図上の記号  >

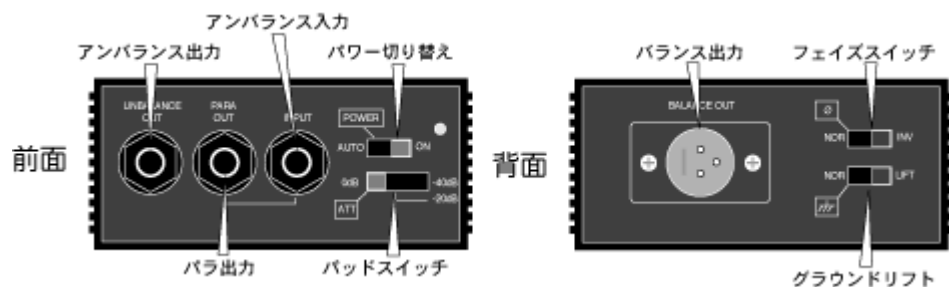
その他にアドバンの舞台で使う機材として、D.I.がある。D.I.は『Direct Injection Box』の略であり、主に『D.I.』と表記されることが多い。D.I.の役割は次の3つ。

1. ハイインピーダンスをローインピーダンスに変換する。
2. アンバランス転送をバランス転送に変換する。
3. 標準（フォン）コネクタを XLR（キャノン）コネクタに変換する。

とりあえず『_____の音をラインで録るときに必要な箱』と覚えておけば大丈夫。詳しく知りたい人は講師まで。

○簡単な使い方

アドバンにある D.I.は『BOSS DI-1』のみ。



- ・アンバランス入力、バラ出力、アンバランス出力、バランス出力
それぞれ対応する信号を入出力する。通常は楽器のラインアウトから_____にいれ、_____で卓に送る。
- ・パワー切り替え
使うときは『ON』側にする。『AUTO』は信号が来ないときは自動的に電源を切り、信号がきたときに電源を入れる。この場合電源が入ったり切れたりするときにノイズが発生してしまう。
- ・パッドスイッチ
入力されるレベルが大きいときに、レベルを下げるために入れるスイッチ。通常は『0dB』
- ・フェイズスイッチ
位相の切り替えを行うスイッチ。通常はどちらでも構わないが、キーボードの LR など D.I.2 台で同じ楽器を録る場合は、2 台のフェイズスイッチが同じ方向になっていることを必ず確認する。
- ・グラウンドリフトスイッチ
他の音響機器とのグラウンドを切り離す（リフトする）スイッチ。通常は『NOR』側にしておく。『LIFT』にするとファンタム電源が使えなくなる。

【マルチケーブル】

何本ものマイクケーブルが束になったもの。舞台上で使われるケーブルをいったんマルチボックスにすべてまとめ、一本のケーブルにして卓側へ運ぶ。中には細い心線がたくさん入っているため、急な角度で曲げたり、ケーブルを踏んだりしてはならない。

【マルチボックス】

マルチケーブルの両端に繋がるボックス。XLR（キャノン）のオスとメスのコネクタが付いている。ボックス自体に付いているマルチコネクタがオスかメスかで、それぞれ『オスのボックス』『メスのボックス』といった言い方をする。オス・メス両方付いているボックスを『貫通ボックス』という。

【マルチドラム】

マルチケーブルとマルチボックスをいっしょにして、ドラムに巻いたもの。ドラムの側面にコネクタが付いている。ケーブルの先のマルチコネクタはメス。

§ 3 仕込み

3.1 仕込みって？

演者さんたちが舞台上でリハーサルや本番を迎えられるようにセッティングすること。

仕込みが終了しなければ、当然リハーサルも本番も行えない。イベント・ライブを成功させる第 1 歩。

3.2 仕込みの前に

いきなり仕込みをしようとしても、機材や設置場所、結線図などがわからなければ何も出来ない。仕込みには綿密な準備が必要。

<舞台では>

チーフ・

スタッフ・ . . .

3.3 仕込みの流れ

チーフはそれぞれのスタッフに指示を出し、スタッフはその指示を受け与えられた仕事を確実にこなす。

(1)

(2)

(3)

～スピーカ結線チェック～

(4)

～マイク回線チェック～

(5)